



コースコード : RH-DO289

税抜価格 : 245,000円

日数 : 5日間

---

## 前提条件

Red Hat Open Shift I: Containers & Kubernetes (DO180) を受講済み、または同等の知識がある Red Hat 認定システム管理者または上位の認定の取得は、操作とコマンドラインの使用法を理解するために役立ちますが、必須ではありません

## 受講対象者

エンタープライズ・アプリケーション開発者

SRE (サイト信頼性エンジニア)

## コース概要

OpenShift

### クラスタでコンテナ化アプリケーションを設計、ビルド、デプロイする

Red Hat OpenShift Development : Containerizing Applications (DO288) では、アプリケーションとマイクロサービスを構成およびデプロイする主要なテクノロジーとしてのコンテナについて理解を深めます。OpenShift 開発トラックの 2

つ目のコースとして、このコースでは、コンテナ化されたソフトウェア・アプリケーションを OpenShift クラスタに設計、ビルド、デプロイする方法について取り上げます。

コンテナネイティブのアプリケーション作成や、既存のブラウフィールド・アプリケーションの移行において、Red Hat® OpenShift Container Platform を使用した開発者の生産性向上の手法を習得できます。Red Hat OpenShift Container Platform は、エンタープライズによるコンテナのデプロイメント管理および Kubernetes を使ったアプリケーションのスケールリングを可能にするコンテナ化アプリケーション・プラットフォームです。

このコースは、Red Hat OpenShift Container Platform 4.1 に基づいています。

## 目的

アプリケーションビルドを管理およびトリガーする

既存の Source-to-Image (S2I) ベースイメージをカスタマイズする

OpenShift テンプレートを作成する

アプリケーションの信頼性の監視および向上を目的としたヘルスチェックを作成する

継続的インテグレーションおよび継続的デプロイメントのための Jenkins

パイプラインを作成してデプロイする

OpenShift 用クラウドネイティブ・アプリケーションを作成してデプロイする

## アウトライン

OpenShift クラスタにおけるアプリケーションのデプロイと管理

さまざまなアプリケーション・パッケージ手法を使用して OpenShift クラスタにアプリケーションをデプロイし、そのリソースを管理します。

OpenShift 用のコンテナ化アプリケーションの設計

アプリケーションのコンテナ化方法を選択し、OpenShift

クラスタで実行するコンテナを作成します。

エンタープライズ・コンテナイメージの公開

エンタープライズ・レジストリを作成し、そのレジストリにコンテナイメージを公開します。

アプリケーションビルドの管理

ビルドのトリガーと管理に加えて、OpenShift のビルドプロセスを記述します。

Source-to-Image (S2I) ビルドのカスタマイズ

既存の S2I ベースイメージをカスタマイズして、新しいイメージを作成します。

OpenShift テンプレートに基づくアプリケーションの作成

テンプレートの各要素について説明し、マルチコンテナ・アプリケーション・テンプレートを作成します。

アプリケーションのデプロイ管理

アプリケーションの健全性を監視し、クラウドネイティブ・アプリケーションのさまざまなデプロイメント方法を実装します。

OpenShift での CI/CD パイプラインの実装

Jenkins パイプラインを作成してデプロイし、OpenShift

を使用して継続的インテグレーションおよび継続的デプロイメント (CI/CD) を促進します。

OpenShift でのクラウドネイティブ・アプリケーションのビルド

OpenShift

でクラウドネイティブ・アプリケーションを作成してデプロイします。